

平成28年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
総合計画に示す、「安全で人にやさしいまち」「快適で住みよいまち」「活力とにぎわいのあるまち」「自然と共生する美しいまち」を目指し、経済環境部各課が課題としている事業や実施計画で計上されている事業等を確実に推進する。	1.「お茶の京都」推進事業(茶園風植栽設置等)及び観光PR	・「お茶の京都回廊」拠点駅前における茶園風植栽による京田辺玉露のPR ・ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)スポーツ・観光イベントを活用した市特産品及び京田辺玉露のPR発信	・三山木駅前の緑地帯に茶園風植栽を整備する。 ・TOJスタート地となる普賢寺ふれあいの駅及びゴール地で選手・来訪者へ「おもてなし」として京田辺玉露を振る舞う。	・三山木駅前の緑地帯に茶園風植栽を整備した。 ・TOJスタート地となる普賢寺ふれあいの駅及びゴール地で選手・来訪者へ「おもてなし」として京田辺玉露を振る舞った。	A	
	2.安全・安心な消費生活の確保に向けた取組の実施	・消費者被害を未然に防止し、市民の安全・安心なくらしを実施するため、相談体制や学習機会の充実を図る。 ・権限委譲に伴い家庭用品品質表示法等に係る立入検査が市町村移管されたことから立入調査を実施する。	・相談窓口の充実 ・消費生活講座の開催 ・消費生活展等の開催 ・家庭用品品質表示法等に係る立ち入り検査の実施	・消費生活相談受付件数382件。消費者力アップ!連続講座(8月)を4回実施した。 ・消費生活講座(6月)を3回実施した。 ・消費生活展を2回(5月・11月)実施した。 ・家庭用品品質等表示法等に係る立ち入り検査を実施した。(3月)	A	
	3.中小企業の活性化支援	・市内の中小企業の経営と雇用の安定のため、中小企業を支援する。 ・市内の中小企業の店舗が行うバリアフリー化を支援する。	・中小企業融資保証料補給、利子補給を実施する。 ・京田辺市店舗バリアフリー改修助成事業の実施	・中小企業融資保証料補給金134件、利子補給金495件(京都府保証協会制度424件、マル経融資69件、新創業融資2件)を補助した。 ・京田辺市店舗バリアフリー改修助成を1件実施した。	A	

平成28年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	4.企業の雇用・人材確保支援	・市内企業の人材確保を支援するため、ハローワーク等と連携し、就職合同説明会、産業祭併催事業シゴトニア★京田辺等を実施する。	・ハローワークと共同事業実施のための連携体制を構築する。 ・ハローワーク等の求職支援機関と連携し、就職説明会等を実施する。 ・産業祭併催事業シゴトニア★京田辺を実施する。	・毎月ハローワークとの定例会議を開催し、連携体制を構築した。 ・ハローワーク、京都銀行、京田辺市商工会とともに就職面接会を開催した。 ・シゴトニア★京田辺を開催し、16ブース出展した。	A	
	5.商工会館の整備等	・市民に広く利用されている商工会館の空調設備の更新を支援する。 ・商工会館土地の無償貸与期間が平成28年度までとなっていることから、商工会や関係機関と協議し新たな契約内容を確定する。	・商工会館空調設備更新助成事業の実施 ・土地情報の整理、分析し、商工会や観光協会と協議を行った後、庁内関係部署と調整を図る。	・商工会館空調設備更新において補助金を交付した。 ・京田辺市商工会と商工会館使用貸借契約を締結した。	A	
	6.D-eggを巣立つ大学発起業家等の市内への誘致	・「起業家育成施設テイクオフ補助金制度」を活用し、D-eggを巣立つ大学発起業家等を市内へ誘致する。	・D-eggからこれから巣立つ、又は巣立った起業家の情報を収集する。 ・産学連携コーディネータと連携し上記の起業家に市内施設等の紹介やテイクオフ補助制度の周知を行い、市内へ誘致する。	・産学連携コーディネーターによるD-egg卒業企業の情報収集を実施した。 ・産学連携コーディネーターとの連携のもと、テイクオフ補助金2件の利用があった。	A	

平成28年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	7.観光入り込み客数・観光消費額の拡大	・地域経済の活性化のため、観光入り込み客数及び観光消費額を拡大する。 ・観光案内所(駅ナカを含む)来客数:4000人 観光協会一休品販売額115万円(前年比1.5倍)	・観光パンフレット(日本語・英語・中国語版)の作成・配布 ・一休品販売促進関係者会議の実施 ・普賢寺ふれあいの駅の施設の充実への支援	・観光パンフを作成し、21,000枚を配布した。 ・観光案内所(駅ナカ含む)来客数が10,317人。 ・普賢寺ふれあいの駅の施設の充実に向け、支援した。	A	
	8.駅ナカ情報発信事業及び駅ナカ案内所運営	・市民や市外からの来訪者に市の各種情報や市の魅力を発信するため、近鉄新田辺駅の構内に案内所を開設し、市の情報発信拠点とする。	・駅ナカの配架物を庁内照会し、配架物のレイアウトを整える。 ・市の魅力を発信する動画等を作成し、案内所で発信する。	・駅ナカの配架物を庁内照会し、配架物のレイアウトを整えた。 ・市の魅力を発信する動画等を作成(同志社女子大学との共同制作と市発注)し、案内所で発信した。	A	
	9.全国・関西茶品評会出品農家への支援と京田辺茶の消費拡大PR事業	・京田辺玉露というブランド形成による茶業振興を通じて、農業振興を図る。 ・京田辺玉露を国内外へ広くPRすることで、消費拡大につなげる。	・茶摘みボランティアのシステム募集等への支援 ・茶園整備への支援 ・京田辺玉露PR用DVDの作成	・茶摘みボランティアの募集等に支援を行った。参加人数は109名であった。 ・茶園の被覆棚整備へ6件の支援を行った。 ・京田辺玉露のPR用資材を作成した。	A	

平成28年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	10.京都田辺茄子・エビイモの産地強化と作付け農家への支援	・ナス・エビイモの出荷量を確保して、京都田辺茄子・エビイモのブランドを守るとともに、価格安定対策要件を維持し、農業振興を図る。 ・今後さらなる育成が望まれるナス・エビイモ等を促進し、作付け面積拡大など産地の維持・強化に取り組む。	・技術者協議会を通じ、JA等と連携し、産地活性化計画の策定を進め、後継者養成塾の活動の発展・継続する。 ・省力化機械の導入による効率化を支援する。	・技術者協議会を通じ、JA、普及センター等と連携し、養成塾の活動を継続して行った。 ・省力化機械の導入に対して、1件補助金を交付し、効率化を支援した。	A	
	11.東地区農地乾田化事業	・東地区において、農地の排水機能を高めることで、農作業の効率化や農地の生産性向上など地域農業の活性化を図る。	・東地区農地乾田化工事に向け測量設計委託を実施し、地元調整を図る。	・東地区農地乾田化工事の実施に向け測量設計委託を行い、現地測量及び基本的な設計は完了したが、さらに地元調整に時間を要するため、繰越しを行い、現在、地元区と協議継続中である。	B	・地元要望を反映した実効性のある設計となるよう引き続き地元区と協議を進めていく。

平成28年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	12.ごみの発生抑制・再利用の促進(ごみ減量化対策)	・ごみ処理基本計画に掲げた施策に取り組み、ごみの減量化及び再資源化を推進する。	・ごみ減量化推進審議会の円滑な運営 ・H28.10月から粗大ごみ及び持込みごみの有料化の実施 ・H28.10月から容器包装プラスチック及び紙ごみの分別収集の実施 ・3R普及啓発の拡充	H28.10月から粗大ごみ及び持込みごみの有料化、容器包装プラスチック及び紙ごみの分別収集の実施に向けて、次の施策を実施した。 ・ガイドブックを5万部作成し、市内全世帯に配布した。 ・市民周知のため、説明会を各地区公民館45会場、広域3会場、個別要望10会場で開催し、計2,262人の参加を得た。 ・半年間で容器包装プラスチック176t、紙ごみ148tを回収した。 ・リサイクル率が前年度比で3%アップした。	A	
	13.ごみ焼却施設の老朽化に伴う後継施設の整備	・ごみの適正処理を継続して行うため、施設の老朽化への対応及び枚方市との可燃ごみ処理の広域事業化を進める。	・一部事務組合の設立 ・一部事務組合による環境影響評価の実施 ・敷地造成工事の設計 ・用地取得	・一部事務組合の設立について、平成28年5月31日付け総務大臣許可を得て設立した。 ・環境影響評価について、一部事務組合による配慮書手続が実施されている。 ・敷地造成基本設計業務について、平成28年9月26日付けで委託契約を締結し、実施継続中である。 ・用地取得について、年度内取得に向けて進めてきたが、未契約用地があるため、継続交渉中である。	B	・敷地造成基本設計については、関係機関との協議を踏まえながら進めていく。 ・用地取得については、次年度内の取得完了に向け取り組んでいく。

平成28年度 経済環境部
組織目標達成度測定シート

今年度の目標設定				今年度の目標の達成度と今後の取り組み		
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)	E 目標の達成評価	F 目標の達成度	G 今後の取り組み
組織の基本方針又は使命	今年度取り組む事項	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか	重点目標項目を実現するため行う活動や手段	目標の達成状況や成果の評価(できるだけ定量的に記入)	※目標の達成度の区分(「B重点目標項目」単位での評価)	目標が未達成であれば、今後の具体的な取り組み
	14.省エネや雨水の活用など家庭における環境行動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の雨水利用を促進するため、雨水タンクの設置を支援する。 ・住宅への再生可能エネルギーの普及と省エネ効果の高い燃料電池システムの設置を継続して支援する。 ・住宅用蓄電池の導入支援を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用雨水タンク設置補助制度の創設と運用 ・家庭用燃料電池システム等設置補助制度の運用 ・住宅用蓄電池設置に対する補助制度の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水タンク設置補助金制度を創設し、補助金を交付(50件)した。 ・家庭用燃料電池システム等設置補助金制度を継続し、補助金を交付(124件)した。 ・住宅用蓄電池システム等設置補助金制度を創設し、補助金を交付(15件)した。 	A	